

日本共産党



むらい あけみ
村井 明美

福山城周辺の景観保全を

問 福山駅北口広場にホテル等を建設する整備計画は、福山城の眺望等を阻害する。現在の空間を保持し、再整備すること。

答 整備基本方針を撤回する考えはなく、引き続き、市民の皆さまに受け入れられる新しい景観をつくり上げていく。

内海町内に学校を残すこと

問 地域に学校を残し、(仮称)千年小中一貫教育校との通学を選択できるように求める。

答 より良い学びの環境づくりのために学校再編に取り組んでいる。2022年4月の開校に向けて地域や保護者の協力をいただきながら、小中一貫教育校を一緒につくっていただけるよう全力で取り組む。

手城川流域の災害防止対策を

問 手城川で行われている護岸整備としゅんせつをさらに上流に向け実施すること。また、国道2号の地下の排水管、水路の堆積土の除去を行うこと。

答 流下能力を高めるため、県は、2023年度の完成をめざし手城川排水機場から谷地川の合流部分までの護岸整備と河道掘削を行っており、完成後も上流に向け整備予定と聞いている。堆積土除去は、国道2号の地下も含め必要に応じて実施していると聞いている。

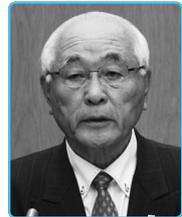
夏休み短縮の取りやめを

問 豊かな子ども期を過ごすために重要な夏休みの短縮は、気温の高い時期に授業を行うことになり、子どもの心身の発達

答 短縮による年間授業時数の平準化で、ゆとりを持って学び、生活できると考える。暑さ対策や教育課程の再編成等を行い、2020年度から実施していく。

上も問題である。取りやめを。

誠友会



とくやま たけお
徳山 威雄

※マイス
MICEの推進は

問 ①MICE誘致ディレクターのこれまでの活動内容は。②誘致対象はどう考えているか。

答 ①各種業界団体、企業に対し会議等の実施状況のヒアリングを行うとともに、会場候補となる各種施設を視察する中で、本市の現状と課題の整理、分析を行った。②産業MICEを重点ターゲットとする誘致に取り組み、「産業都市福山」のブランド確立に向けたMICEにしていきたい。大型施設を前提とせず、市内に点在する複数の既存施設を面で捉えるエリアMICEの考え方を取り入れる。

グリーンスローモビリティの活用は

問 ①福山城を中心とした文化ゾーンの魅力を発信するツールとしての活用は。②鞆町における移動手段としての考えは。

答 ①本格導入に向けて、文化ゾーン全体の魅力向上や観光振興につなげるため、福山城周辺を周遊できるコースを設定する。②狭い道等が多く、きめ細やかな運転ができるグリーンスローモビリティの活用が、観光客だけでなく、地域住民も安心で安全に暮らせる移動手段として有効と考える。パスの整備等により、一定程度の渋滞が緩和されると考えている。

幹線道路の渋滞緩和を

問 ①芦田川左岸2号幹線の交差点整備による渋滞緩和は。②鷹取本庄線の本庄側の整備は。

答 ①この路線と福山沼隈道路の側道橋が接続する草戸大橋東詰めの交差点への右折車線やアンダー

②本庄町中一丁目付近は事業を中断しているが、早期整備をめざして現地調査を行うとともに、事業の理解が得られるよう地権者への丁寧な説明を行い、2020年度には本庄地区の事業認可が受けられるよう取り組む。

※MICE: Meeting (ミーティング)、Incentive (報奨旅行)、Convention (会議)、Exhibition / Event (展示会 / イベント) といったビジネスイベントの総称。